



自由民主党 糸井の会 きずな

通信

いよいよ
泉井ともひろです。

自由民主党糸井の会の
泉井ともひろです。

吹田のために
出来ること

～より良い吹田へ～
徹底的に取り組みます!!

吹田市議会平成30年5月・9月定例会合併号

質問.1

『災害時の対応と消防団について!!』

情報は誤解のないように発信し、自然災害時にも
消防団を活用して、吹田市の消防力の強化を図るべき!

今年は6月の震災から大雨、猛暑、台風と立て続けに自然災害や異常気象があり、吹田市にも大きな影響を及ぼしました。今回はそれらの市の対応や消防団の活用について指摘と提案を行いましたが、先ずブロック塀の安全性の報告について、市民の誤解を招きかねない情報発信について改善要求をさせていただきました。次に消防団の活用については、今回の震災と台風21号の発生後に各地域に密着した組織からなる消防団の出動が1回だけだったことに対して、さらなる消防団の活用の必要性を訴えるとともに、市の考えを確認しました。そして近隣他市に比べて極端に少ない団員の確保策等の質問を行いました。



質問.2

『福祉施策について』問題だらけの単なる運営補助金、2月定例会に引き続き、その在り方をさらに大幅是正!

2月定例会で問題だらけの市の単独補助金制度を大幅に見直す約束を取り付けました。しかし、その後の調査で2月定例会での見直しだけでは、到底認められないことが発覚しました!

2月定例会の話

一部の法人が
主に受け取る
仕組みとなって
いる運営補助金

訪問系サービス
精神障害者施策

放置…

この10年だけでも
20億円以上!

裏面へ続く

2件の条例改正(案)を提出し、賛成多数で可決されました!!

- 行政財産の使用料の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定

(簡単に言えばルールを守らない市有地の貸付法人に対して、処分を課す条例の制定です)

この条例改正(案)を提出した背景には、市有地を使用している法人等が市に無許可で他の団体に又貸ししていることや、市に無許可で建物を増築している、また偏った政治的な活動をしているなど、無許可での目的外使用の実態が多々ありましたが、市は議会から指摘されるまで黙認し、指摘

をされても毎回、注意程度で終わるなど、なんの処分も課さずにきました。私からすると、その場しのぎの対応のみで、本気でルールを守らうとする姿勢が全く伺えない状況でした。この改正案に反対したのは日本共産党と市民と歩む議員の会の2会派。

※今回の条例改正(案)は、私と他の議員2人との共同提出です。



会派通信にて議会報告をさせていただきます!

これまでの議会報告や、その他委員会のこと。議員を目指すきっかけや近況、出来事など泉井に関する情報を「泉井ホームページ」で専門用語ができるだけ使わずに掲載していますので、あわせてご覧ください。

2月定例会の報告書にも記載させていただきましたが、吹田市の福祉部所管の補助金制度については任期当初から委託事業(随意契約)などを含め、さまざまな面で真正面から正論をぶつけ、指摘や提案をしてきました。それは長年、その効果検証や評価がされておらず、一部に非常に偏っていること、また現在の社会情勢にそぐわない制度、あるいは法改正等で国の事業として整備されているにも関わらず、市の独自補助として出し続けています。(財源は全て吹田市民の負担)福祉業界を取り巻く環境を考えれば、独自施策を打ち出すこと自体は評価できるのですが、先述のとおり大きな問題だらけです。

私はこのような問題の多い補助制度について強く指摘をしてきました。そして福祉部も当初からそれらを認めてきましたが、2月定例会のあと、その利益を守ろうとする団体等から、重度障害者当事者や保護者が混乱をしているという話が出てきました。しかし、その根源には重度障害者当事者や保護者の不安をあおり、活動をさせていることが疑われます。そして私のところにも多くの保護者の方が話をしに来られましたが、やはり保護者の皆さんとは大きな認識の違いがあり、それについてもしっかりとお話をさせていただきました。

問題だらけの単なる運営補助金は廃止せよ!

その後の団体の活動とは…

その後、利益を守ろうとする団体は、なんと自分たちの活動を正当化させたいためなのかは、わかりませんが、5月定例会の後、あるビラを作成し、ポスティングや郵送などで業界内外に配り始めました。

そのビラは非常に良くできいて、利害関係のない方など、あまり本市の障害福祉に詳しくない方、何も知らずにこのビラを見た方からすると、吹田市は補助金の削減、廃止により、障害者福祉を切り捨てる行政とされ、ビラの中に登場する人物←(おそらく泉井です(^^ゞ)は完全に悪者に描かれていました。

当事者を巻き込まないために私たちができること

しかし、私から見れば、団体自らが補助金の使途の不適切性を訴えているようにしか見えない内容でしたので、9月定例会の質問では、そのビラの写しを議場にいる全員と傍聴者に資料として配布し、ひとつひとつ説明をさせていただきました。質問のあと、他の議員や市民からは「そういうことだったのか!」など、賛同していただける声が多く寄せられました。また、このような活動に対して何ら批判をすることでもありませんが、障害者当事者や保護者を巻き込まない

でいただきたいと、あらためて思いました。私はこれからも重度の身体、知的の重複障害者(一つ年下の弟)の家族として、そして福祉サービス事業所運営等の現場経験から培った専門的知見と現場感覚で、偏りのない充実した福祉施策となるよう努めると共に、増え続ける社会保障費のもと、納めもらっている市民の税金(限られた予算)が将来を担う子供達や今まで見過ごされてきた福祉施策などに、幅広く使われるよう徹底的に取り組んでいきます!

泉井は声の大きな一部の
批判には屈しません!!



これからも責任ある発言と政策提案で吹田の未来を守ります!

詳しくは「泉井ともひろホームページ」をご覧ください。

泉井ともひろ 検索 <http://izui-tomohiro.com>
OFFICE 〒564-0063 吹田市江坂町3丁目28-1 TEL080-2476-6545 / FAX06-6386-5039



・・・
市政相談
いつでも受付中!

本会議の様子は **録画映像** でご覧いただけます。吹田市議会

検索

※スマートフォンでも閲覧
いただけるようになりました!

